

TheNorthFaceCup 2013

11/18 (日) North Cave Gym 戦

要項&ルール

会場 北海道札幌市東区北二十七条東20丁目3-27地下鉄東豊線元町徒歩15分
TEL 080-3418-9044

* 当日キャンセルの場合は必ずお電話にてご連絡下さい。

お早めのご連絡をお願いします。

なお、事前のお問い合わせは、WEBサイト上のCONTACTからお願い致します。

当日受付の際、ノベルティーTシャツ&ライセンスカードをお受け取り頂きます。又、大会日前日は通常営業をお休みさせていただきます。ご了承下さい。

・フリーセッション&クリニックについて (11/8 追加事項)

大会当日は、TNFC2013 予選後、フリーセッション&クリニックを予定しております。

クリニックでは、平山ユージやゲストセッターによるコンペ課題を題材に

アドバイスや攻略法、デモンストレーションを開催いたします。

フリーセッションでは大会中に登れなかった課題に登れた方先着順に、

豪華賞品も用意しております。ご参加お待ちしております。

* 対象は当日参加された選手のみとなっております。

・ご来場について

大会当日は大変混み合うことが予想されます。

当施設の駐車場(約10台)と許可を得た近くの施設に(約15台)は用意する予定ですが、朝の段階で満車になってしまう可能性があります。

車でお越しの際は、出来るだけ相乗りをお願い致します。また、市外からの参加が多く見込まれますので、市内の方はできるだけ公共の交通機関をご利用下さい。

又は気合いで歩いて来てみてください。

満車の際は、周辺のコインパーキングをご利用ください。また近くの駐車場を案内された方は、駐車代のかわりにそちらの施設で買い物などして頂ければ助かります。

* 11/6 時点での追加項目として、近隣の駐車場は1日500円かかります。

少し離れた場所には、無料駐車場がございますので、駐車希望の方は一度受付の方へお願い致します

・ウォーミングアップについて

各カテゴリーの競技が始まる前までにお願ひ致します。競技はボルダリングエリア全面を使いますので、ウォーミングアップはロープクライミングエリア下部などをご利用下さい。もちろんキャンピングボードは空けておきます。

* マットはございません。アップの際はご注意ください。

・貴重品やお荷物、シューズについて

貴重品は受付ではお預かりしておりませんので、各自の自己管理でお願ひ致します。

お荷物は更衣室内又は休憩室 2 階フロアをご利用下さい。シューズも受付にて手提げ袋をおくばりいたします。自己管理をお願ひ致します。

また当日のゴミは各自でのお持ち帰りにご協力お願ひ致します。

大会ルール説明

1、各クラス 1 時間、10 課題のセッション方式。

ボルダリングエリア全面を 7 エリアに仕切っており、好きなエリアに並んでトライします。

2、各課題はスタートに番号が付いていてそれぞれに色分けされたテープが付いています。

そして各クラスは指定された番号の課題を登ります。

大会当日のジャッジシートに記載されます。競技前にご確認下さい。

2、スタートの条件は基本的に両手（スタートホールドを）、両足（足を地面から浮かせて安定した状態）でスタート。

その他、条件付きの課題があった場合必ず取り付きに表示してあります。

3、完登は両手保持。K 点（中間ポイント）は K 点を保持した時のみ。（タッチや取って振られ落ちの場合認められません。）

4、ジャッジシートは大会当日受付にて渡されます。課題の結果記入は各エリアのジャッジが記入します。また、必ずトライする課題の番号をジャッジに伝えてからトライを開始して下さい。ジャッジに間違いがある場合はトライ直後にジャッジに申告して下さい。時間がたつてからの申告は無効となります。

* 競技終了後は、ジャッジシートを近くのジャッジに必ず渡して下さい。

回収いたします

- 5、順位は完登数の多い順で、完登数が同数であれば登れていない課題のK点数で順位を付けます。
- 6、時間内の最終トライは認めます。
- 7、エリア間の境界線テープ（カラーは当日発表）を越えて足が出たりスメアリングすることはOKです。
壁の形状（ハリボテ、カンテ、コーナー）を使うことはOKですが、壁の末端を使うことは禁止します。リップも指定された（テープの張られた部分）場所以外使用できません。
バウンダリーテープ（カラーは当日発表）が張ってある場所は、手でも足でも禁止いたします。
- 8、指定されたカラーテープ以外のホールドは使ってはいけません。
- 9、競技前や競技中は、コースのスタートホールド以外は触ってはいけません。
- 10、 クリーニングはジャッジに声をかけてブラッシングしてもらおう。
- 11、 課題と課題が近いことがあります。ジャッジが気にかけて交互にトライをさるよう心がけますが、トライする際は左右の壁を確認するようにお願いします。